

## 平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	高瀬
	全体計画						経費区分		-		内線	3137
事務事業名	4043 国際交流等事業											
所 属	050200 総務部・政策推進課											
施 策	07024000 多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	020109 総務費・総務管理費・企画費										
	事業	040000 国際交流等事業										
事業目的						事業概要・効果						
国際化の進展に伴い、友好都市との交流を深め、国際化に対応した人づくりを推進する。						平成6年度の中国吉林省四平市との国際友好都市の締結から20年経過し、親善交流事業として行っている友好訪問などは両市の友好と交流に寄与している。 また、様々な機会を通じ、国際交流の進展を図る。						

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
前年度の公式訪問団の派遣等を踏まえ、次年度以降の友好交流に向けてより効果的な市民レベルの友好促進のための手法の検討。 第16回長野県日中友好都市交流会議への出席	①須坂市日中友好協会の訪中事業にあわせ生徒訪中・職員研修を実施（7月30日～8月5日四平市ほか。教育委員長、中学生7、教諭2、職員1）②「蔵のまち須坂」外国語版を作成・配布。（夕語・ポルトガル語・韓国語各500部、英語・中国語各2,000部）
平成24年度 実績	平成25年度 実績
日中国交正常化40周年記念・日中友好都市中学生卓球交歓大会に伴う四平市表敬訪問（8月14日～21日。選手2人、役員等4人）	日中友好中学生卓球交流大会四平市選手団の受け入れを予定していたが、先方からの申入れにより、次年度に延期 第19回長野県日中友好都市交流会議への出席
平成26年度 予定	平成27年度 予定
友好締結20周年を記念して、公式訪中団を派遣予定（7月28日～31日。7人）	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		0	2,447
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	2,447
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	685.8	685.8
	嘱託職員	817.5	817.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,503.3	1,503.3
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		1,503.3	3,950.3

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	230	
11節 需用費	430	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	15	
その他	1,772	旅費

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	やや低い
評価コメント	須坂市日中友好協会からの要望が強い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	あまり有効ではない
評価コメント	市民、中学生等、公募により派遣は行っているが、あまり活発ではない。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	公式訪中事業等がない場合は、特段人件費等は掛かっていない。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

昨年度は、当初手予定していた日中友好中学生卓球交流大会四平市選手団の受け入れ（生涯学習スポーツ課主管）が、先方からの申入れにより、今年度に延期となった。本年度は友好締結20周年ということもあり、幅広い交流の契機とするため、公式訪中団をはじめ市民、中学生、職員が四平市を訪問し、四平市民との交流を通じ、中国の文化、経済にも触れ、国際感覚を養うことを目的とする。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
国際化に対応した人づくりを推進するためには、友好都市との交流を1つの契機としながら、継続した取り組みが必要である。	

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
未来を担う子どもたちをはじめ、多くの市民などが友好都市との交流を積み重ねる必要がある。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	